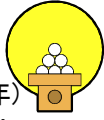


木島小学校ホームページ  
<http://www.kaizuka.ed.jp/kisi-el>

## 9月の行事予定

- 2日(月) 第2学期始業式
- 3日(火) 短縮終了 下校13:45  
二測定(6年)
- 4日(水) 二測定(4・5年)
- 5日(木) 諸費引き落とし 二測定(3年)
- 6日(金) 学校水泳(午後)第3プール  
(3~6年)  
二測定(1年)
- 7日(土) PTA実行委員会
- 9日(月) 二測定(2年)
- 10日(火) 学校水泳予備日
- 11日(水) 三中校区道徳研修会  
下校13:25
- 12日(木) 児童委員会
- 16日(月) 敬老の日
- 17日(火) 5年非行防止教室(3限)
- 18日(水) 集団下校 5限終了後
- 19日(木) 6年非行防止教室(3限)  
4年 人権教室(2~4限)
- 21日(土) PTAアスレチック
- 23日(月) 秋分の日
- 24日(火) 火災避難訓練(3限)
- 25日(水) 6年研究授業 下校13:25
- 26日(木) フリータイム参観・給食試食会  
クラブ参観
- 30日(月) 6年修学旅行説明会  
ひまわり号



**充実した二学期をめざして** 校長 川崎 雅也

今年の夏も、やっぱり暑い日が続きました。その中でも子どもたちは、夏休み水泳教室、五年生の宿泊学習、なかよしキャンプ、課外バスケットボールやソフトボール等、暑さにもめげずいろいろなことにチャレンジしていました。また、たくさんの子どもたちから、元気な様子が書かれたはがきが学校に送られてきました。

今年の夏休み期間、学校には大きな事故や病気等の報告はありませんが、体調を崩した子どもやケガをした子ども等が中にはいるかもしれません。2学期においても、一学期と同様に健康や安全に十分配慮して、みんなが学校生活を健やかに楽しく過ごしていくことを一番に願っています。

本校においては、この夏休みは暑さと共に、耐震工事が代名詞となりました。校舎は防塵シートに覆われ、壁には足場が組まれ、校長室やいずみ学級等の窓には板が打ち付けられました。そして、その中で工事は急ピッチに進み、トイレ、廊下、階段が新しく生まれ変わりました。本当に工事関係者の皆様方、猛暑の中ご苦勞様でした。そしてありますが、これからもたくさんの方々に「迷惑をおかけすると思いません。でも、新しくなったトイレや廊下、階段を子どもたちが毎日使うことができるので、たいへんうれしく思っています。

さて、今日から二学期のスタートです。二学期は一年間の中で最も長く、学習や運動に充実する時期です。その中で、大いに体を鍛え、心を育み、基礎的・基本的な学力をしっかりと身につけてほしいと思います。また、行事やいろいろな取り組みを通して、仲間づくりを進め、すてきな学級や学年を作っていくってほしいと思います。

また、保護者の皆様には、行事や取り組みの中で、ご支援ご協力をお願いすることもあります。その時には、たくさんの方々のご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

さあ、木島小学校の教育目標「笑顔あふれる学校」を目指し、この二学期もしっかりとがんばっていきましょ。



## 10月の行事予定

- 1日(火) 創立記念日
- 3日(木) 木島っ子祭り(1~3限)  
児童委員会
- 4日(金) なかよし運動会(総合体育館)
- 5日(土) PTA実行委員会
- 7日(月) 諸費引き落とし
- 8日(火) 折り鶴集会
- 9日(水) 1年研究授業 下校13:25
- 12日(土) 秋祭り
- 13日(日) 秋祭り
- 14日(月) 体育の日
- 17日(木) クラブ
- 18日(金) 遠足
- 22日(火) 修学旅行 行ってきますの会
- 24日(木) 修学旅行
- 25日(金) 修学旅行
- 27日(日) 三中校区ふれあいフェスティバル
- 28日(月) ひまわり号
- 29日(火) 遠足予備日



「人権」というのは、誰もが幸せに生きることが出来る権利のことを言います。お互いが思いやり、支え合い助け合いながら、心のつながりを強めていくことが大切です。世界の平和は、まず自分たちの身近なところから、次に紹介する文は本年度広島での平和記念式典でも代表の言葉です。

**平和への誓い** もっと伝えたい、未来に今でも、逃げていくときに見た光景をはっきり覚えている。当時三歳だった祖母の言葉に驚き、怖くなりました。「いつてきます」と出かけた家族、「ただいま」と当たり前前に帰ってくることを信じていた。でも帰ってこなかった。それをきいたとき、涙が出て、震えがとまりませんでした。

六十八年前の今日、わたしたちのまち広島は、原子爆弾によって破壊されました。体に傷を負うだけでなく、心までも深く傷つけ、消えることなく、多くの人々を苦しめています。

今、わたしたちはその広島に生きています。原爆を生きた命、命のバトンをつないで。命とともに、つなきたいものがあります。だから、あの日から目をそむけさせん。もっと、知りたいのです。被爆の事実を、被爆者の思いを。もっと、伝えたいのです。世界の人々に、未来に。

平和とは、安心して生活できること。平和とは、一人ひとりが輝いていること。平和とは、みんなが幸せを感じることに。

平和は、わたしたち自らがつくりだすものです。そのために、友達や家族など、身近にいる人に感謝の気持ちを伝えたい。多くの人と話し合う中で、いろいろな考えがあることを学びます。スポーツや音楽など、自分の得意なことを通して世界の人々と交流します。方法は違っていてもいいのです。大切なのは、わたしたち一人ひとりの行動なのです。さあ、一緒に平和をつくりましょ。大切なバトンをつなぐために。

平成二十五年八月六日 ことば代表(全文)



## 五年生キャンプ

七月三十一日、八月一日に蕃原の少年自然の家にキャンプに行きました。

一日目は、少年自然の家で、竹とんぼ作りを体育館でしました。夕食のカレーは、グループごとに力を合わせて作りました。薪に火をつけたり、材料を切ったり、お米の水の量を計るなど、苦勞したぶんおいしいカレーを食べることができました。夜のキャンプファイヤーは実行委員会を中心に楽しいゲームで大いに盛り上がりました。

二日目、山登りとアスレチックに分かれて活動しました。暑い中、アスレチックや山登りに取り組み、汗を流しながら最後まで精一杯活動することが出来ました。

この二日間の思い出を大切に、二学期の学習も頑張りたいと思います。



ブランコの柵をみどり会(歴代PTA会長の会)によって設置していただきありがとうございました。ありがとうございます。

